

いきいき通信

新たな夏まつり、始まります!



vol.24
 発行：左京西部
 いきいき市民活動センター
 発行日：2017年7月1日

「ようせい夏まつり」
 今年、地元の方と共同で、夏まつりを実施することになりました。そこで、今回のお祭りに込めた思いを当施設のセンター長に聞きました！（写真は錦林での盆踊り大会の様子です。）

当センターの周辺地域でもかつて夏まつりが行われていました。盆踊りも行われ、たいそう賑わっていたと伺っています。こうした地域行事の維持は、その地域の地域力と関係していると聞いたことがあります。お祭りは老若男女、外国人も含めた様々な人が、それぞれ楽しめる素晴らしい機会です。しかし、それを維持継続させていくのは、なかなか大変なことですね。労力だけでなく資金も必要です。多くの方に来ていただくと思えば、呼び物になる内容や、宣伝にも気を使わなければなりません。祭りを支える側に立つと、その準備のプロセスが、地域力の維持に繋がる実感があります。

さて、今年久々にお祭りを復活することの意義は、まさにそうした地域力と関係があります。関係機関、施設、地域住民、各種団体、地域内外の有志等が力を合わせて実施することで、そうした団体や人々との連携が促進され、関係が近づき、活動の広がりや活発化に貢献できるのではないかと思います。とです。また、当センターが位置する養正学区では実は20代の若者が年代別の人口比では最も多く住んでいます。彼らの多くは学生であり、地域活動に意識が薄い傾向があります。しかし、こうした機会を通じて、そうした若者もこの輪の中に取り込んで、より大きな輪を作りたいものです。

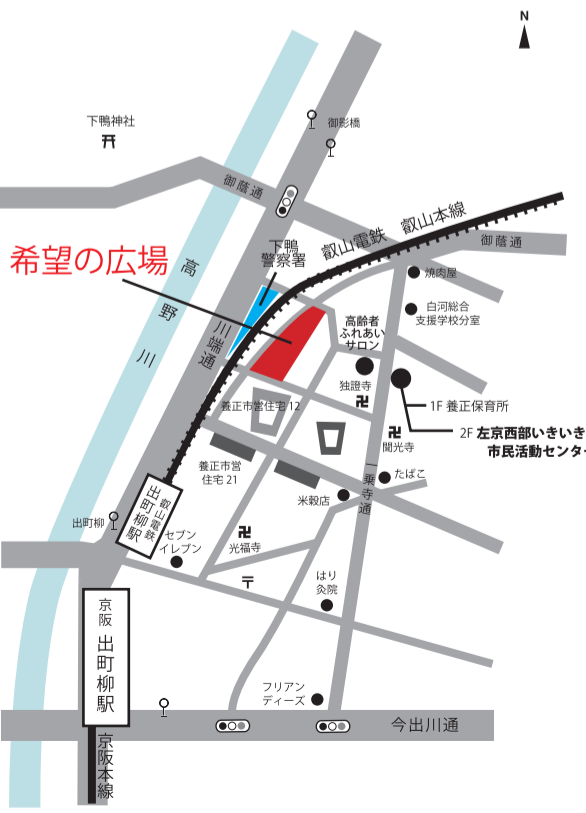
今回のお祭りの目玉は「盆踊り」です。当センターを利用するお年寄り（75歳以上の皆さん）と話をすると、盆踊りの思い出を楽しそうに話されます。

そもそももちろん江州音頭の振りは今でも覚えておられます。また、子供達にも盆踊りに親しんでもらおうと、昨年には当センターの階下にある養正保育所さんと連携して、子供たちと練習会を実施し、「夕涼み音楽会」という行事では盆踊りを踊る機会を設けました。昔の盆踊り文化を知らない20代、30代の若い世代でも、盆踊りはちょっとしたブームになっています。

そして、この地域の特徴は多様性です。養正保育所さんにはなんと13力国以上の子供さんが通ってきています。せっかくですから、模擬店でも多様な食べものを出せたらと思っています。エスニック料理を頼張りながら、外国人も一緒にになって、踊りの輪を幾重にも囲む。それが今風の盆踊りかもしれません。

皆さん、ご家族お友達をお誘いの上、ぜひご来場ください。踊りを知らない人でも、見よう見まねでももちろん大丈夫です。
 （センター長 杉山準）

日時：平成29年8月19日（土）*荒天順延
 17時開場、18時ステージ開始
 盆踊りは19時半ごろから21時までの予定。
 会場：養正希望の広場（左京区田中馬場町77）
 *下鴨警察署の東側すぐ
 主催：左京西部いきいき市民活動センター
 ようせい夏まつり実行委員会+おんらく市場
 共催：養正各種団体連絡協議会、NPO法人Y・Tまちづくりの会、人権連田中支部、養正たすけあいの会



人と知をつなぐ



今回は、学ぶことをテーマに活動されている京都アカデメイアさん(以下、京アカさん)にお話を伺いました。

京アカさんの結成は、7年ほど前。当時、大学の中で多分野に渡る学際的な研究を志向した何人かの学生が、研究室の垣根を越えて読書会などを実施していました。身内で行なっていたそれらの活動を、団体を結成することで、外部に対して分かりやすく、オープンな形にしようと考えたそうです。そして、読書会、模擬授業、公開討論会と、様々な企画が行われる中で、徐々に活動の範囲も大学内におさまらずに外へと広がっていったそうです。これまでに扱われたテーマは、大学の体制・SNS・就活など、学生に身近なものから、社会全体の問題(ジェンダー、経済、教育、社会保障etc...)など様々です。

企画の方式も多岐に渡ります。先生のような方がいて、講義に近い形態をとっているものもありますし、テーマを取り扱う本だけ決めて、参加者で自由に議論をするものもあります。中には批評鍋という名前で、ご飯を食べながら喋るといったゆったりとした雰囲気のある企画もあります。

現在、京アカさんは、月に一回を目安に外部に対する企画をおこなっています。一期、高学歴ワーキングプアといった言葉が流行ったことがありました。状況の中で、大学院生に活動の場を提供したいというモチベーションもあるそうです。

活動の中で貫かれる精神は、「人と知をつなぐ」ことだそうです。図書館に行けば誰でも本が読めますが、ちゃんと読み解くには一人では難しい面もあります。そこに存在する溝を自らの活動で埋めたいというのを仰っていました。さらに、京都アカデメイア塾という、個別指導に近い指導形式で、より本格的に学べる場も用意しているそうです。

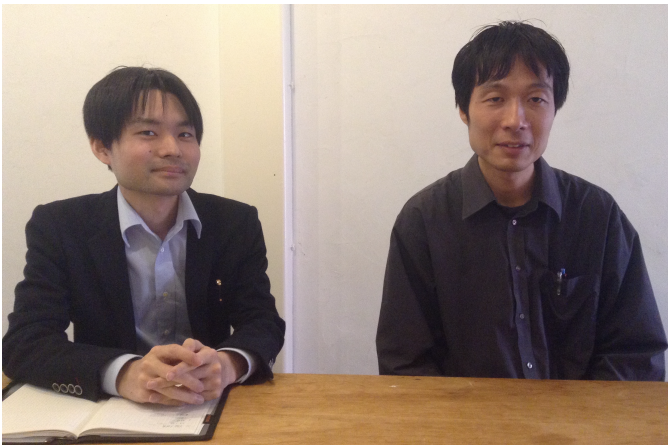
京アカさんは、活動の記録をyoutubeなどにも多

数残されていて、これまでの活動の内容を見ることが出来ます。

私自身、京アカさんの企画に3度ほどお邪魔させて頂きましたが、テーマに関しての知識量に関係なく、とても楽しむことが出来ました。一人で新たな領域の本を読むのは難しいものですが、そうした時のきっかけ作りとしてはとても有益な機会だと思いました。そして、それを色んな人と共有することで、自分には到底思いつかない視点が飛び出すのもこれらの企画の魅力です。

大量の情報が行き交う現代だからこそ、ひとつの本にしっかりと向き合う時間というものも大切にしたいと思えます。そういった点で、京アカさんの企画に参加するのはとても有意義だと思つたので、これを読んで興味を持たれた方は是非一度、京アカさんの企画に参加してみてください！あと、一緒に企画を作っていく方も絶賛募集中だそうですので、そんな方も是非！

↓お話を伺った京都アカデメイアの方(写真左から大窪さんと浅野さん)



NPO 法人 京都アカデメイア

HP <http://www.kyoto-academeia.sakura.ne.jp/>
Twitter @kyotoacademeia
E-mail kyotoacademeia@gmail.com



GACCOH

今回、京都アカデメイアさん取材させて頂いたのが、GACCOHというスペース。アートな匂いもするここを管理運営されているのは、太田さん。工務店で大工の経験もあるという太田さんは、内装の改修もほとんど一人で手がけ、イベントの素敵なチラシやHPもご自身で作成されています。

もともと、大学を卒業したあと、自分が学びたかったと仰る太田さん。GACCOHさんの講座の一つで初学者向けの「やっぱり知りたい!シリーズ」は京都アカデメイアさんとの共催から始まったそうで、両団体は縁も深いです。私もそのシリーズを受講してみましたが、とても興味深い内容で、幅広い年代の方から支持されていました。街のまなびの場としてかなり注目の場所です!

GACCOH Address 京都市左京区吉田泉殿町63-17 (京阪電車「出町柳駅」2番出口より徒歩5分)

HP <http://www.gaccoh.jp/> Mail gaccoh009@gmail.com



◎その他のイベント／参加募集



左京区・南禅寺近くに位置する左京東部いきセンも当施設と同じくNPO劇研が運営しています。ここでは、この夏開催される東部いきセンの楽しいイベントをお知らせします。

Event
『復活! 錦林盆踊り大会2017』
日時/会場: 平成29年7月30日(日) 17時~21時(盆踊りは18時から) / 高岸南公園
入場無料。模擬店あり。小雨決行。荒天時は翌日に。翌日も荒天ならば翌々日に順延。
練習会: 7/24(日) 19時~21時 左京東部いきいき市民活動センター(集会室)
お問い合わせ: 左京東部いきいき市民活動センター tel 075-761-1385



編集後記

今回より編集を担当しております、左京西部いきいき市民活動センターの丸木です。少し今回は詰め込みたい思いが多くて文章量が多くなってしまいましたが、8月19日(土)に、センター近くの公園で夏祭りを開催いたします。こういった機会を活かして、より地域との触れ合いを増やし、より地域に近いセンターになればと思っています。